

京都混声合唱団定期演奏会

2011.9.25(Sun.)14:30
京都外国語大学 森田記念講堂

G. Puccini *Messa di Gloria*
F. P. Tosti
Opera



主催／京都混声合唱団
後援／京都市
京都市芸術文化協会
日本イタリア協会

ご挨拶

日増しに秋の深まりを感じる頃となりました。本日は私たち京都混声合唱団の定期演奏会にお越し頂き、厚く御礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災で被災されました方々に改めて心からお見舞い申し上げます。弊団からも僅かな寄付を行いましたが、更に皆様方からお預かりしたご厚志に当演奏会での許された収益を加え、日本赤十字社を通じてお送り致します。

本年はイタリア統一150周年になりますので、これに焦点を当てた3曲を演奏致します。音楽のある日々の暮らしに感謝しつつ、イタリアの情熱的な音楽を少しでも表現できるよう練習に励んでまいりました。未熟ではございますがご鑑賞頂き、どうぞ忌憚のないご叱声をお聞かせ下さい。

今後とも温かいご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げてご挨拶とさせて頂きます。

平成23年9月25日

京都混声合唱団

プログラム

第1部 トスティ作曲 向川原 慎一編曲

混声合唱のための五つのトスティ歌曲

Aprile 四月 / La Serenata セレナータ / Ideale 理想のきみ
L'ultima canzone 最後の歌 / Addio! さようなら!

第2部 イタリアオペラ合唱曲

ヴェルディ作曲

ナブッコより

Va, pensiero, sull'ali dorate 行け、我が想いよ、金色の翼に乗って

マスカーニ作曲

カヴァレリア・ルスティカーナより

Gli aranci olezzano sui verdi margini オレンジの花は香り

ヴェルディ作曲

椿姫より

Di Madride noi siam mattadore 闘牛士の合唱

休憩

第3部 プッチーニ作曲

Messa di Gloria

Kyrie Gloria Credo Sanctus e Benedictus Agnus Dei

清水 徹太郎 (TENOR) 小玉 晃 (BARITON)

指揮 蔵田 裕行

ピアノ 宮北 昌子

オルガン 中山 幾美子

合唱 京都混声合唱団

2011年3月17日はイタリア統一150周年の記念日でした。

かつてのイタリアは小国の集まりで、中世以来統一国家がないまま分裂状態が続いていました。18世紀末にフランスのナポレオンがイタリアに侵攻し全イタリアを掌握しましたが、1815年に失脚するとほぼ元の分裂状態に戻ってしまいました。この頃からイタリア人としての民族意識が高まりを見せ、イタリア統一運動が活発になっていきます。1861年2月サルデニヤ王ヴィットーリオ・エマヌエーレ2世が統一に成功、3月17日にイタリア王国を樹立しました。

このような時代の流れを横軸に、本演奏会で取り上げた作曲家達による作品をお楽しみ頂ければ幸いです。

フランチェスコ・パオロ・トステイ(1846~1916)

作曲家であり声楽教師、歌曲の作曲家。

1875年頃からイタリアで盛んにサロン用歌曲を発表。やがてイタリア王室の声楽教師、1880年頃にはロンドンに移住しイギリス王室の声楽教師となる。1912年にイタリアに戻った。イタリア語だけでなく、英語、フランス語を原詩とする歌曲も手がけている。

ジュゼッペ・ヴェルディ(1813~1901)

19世紀を代表するロマン派音楽の作曲家。イタリア・オペラを次々に作曲し、「歌劇王」と称された。

1838年から1840年の間に妻子を亡くして音楽への意欲を失っていた頃、旧約聖書に原案を得た「ナブコドノゾール」(ナブッコ)の台本に出会い、その中に書かれた宗教心や愛国心にふれ、再び音楽と向き合う。

ナブッコの成功を受け、以後多くのオペラの作曲依頼を受けることとなる。「行け、我が想いよ、金色の翼に乗って」は、今日でも第2のイタリア国歌と呼ばれ親しまれている。

ピエトロ・マスカーニ(1863~1945)

19世紀末のイタリア・オペラ作曲家、指揮者。20歳にならぬうちに交響曲、オペラ、カンタータなどを作曲、指揮者としても活動を始める。1890年に一幕物オペラコンクールに応募し優勝したのが、代表作「カヴァレリア・ルスティカーナ」。シチリアの山間部を舞台に貧しい人々の暮らしや決闘、殺人などを描いたこのオペラはイタリアにおけるヴェリズモ(リアリズム文芸運動)・オペラの端緒をなすものとなった。

開幕の合唱「オレンジの花は香り」は、その晴れやかで平和な歌声が、やがて起こる悲劇をゆっくりと浮き上がらせていく。

ジャコモ・プッチーニ(1858~1924)

プッチーニは18世紀から代々続く宗教音楽家の家系に生まれたが、唯一オペラ作曲家を目指した。

1880年「ミサ・ディ・グローリア(Messa Di Gloria)」の完成をもって、初期の音楽修業と家業である宗教音楽家の道に区切りをつけた。この作品では、その後の作品の中であらわされる劇的な表現力を随所に見ることができる。プッチーニのオペラは、綿密な描写や旋律の美しさ、覚えやすさ、口ずさみやすさで、オペラ初心者でも親しみやすい。ヴェルディ亡き後、20世紀初頭のイタリア・オペラにおいて最高の作曲家と称され、今日なお世界中で演奏されている。

対　　訳

五つのトスティ歌曲

Aprile 四月

きみは感じないのか、大気の中に
春がまき散らしているこの香りを？
きみには聞こえないのか、心の中の
新しい喜びの声が響いているのが？

四月なのだ！四月なのだ！
それは恋の季節なのだ！
さあおいで、わたしの愛らしいひとよ、
花盛りの草原へ！

すみれの花のあいだに足を踏み入れ、
胸には薔薇や空色の花を飾れば、
真白い蝶々が
きみの黒い髪のまわりで羽ばたくだろう

四月なのだ！四月なのだ！
それは恋の季節なのだ！
さあおいで、わたしの愛らしいひとよ、
花盛りの草原へ！

La Serenata セレナータ

飛んでいけ、おお、セレナータよ、
愛するひとはただひとり、
その美しい頭を傾けながら、
シーツに包まれて休んでいる、
おお、セレナータよ、
飛んでいけ。

かがやけ、月よ、清らかに、
沈黙がその翼をひろげ、
薄暗い寝室のヴェールのうしろで
あかりが燃えている、
月よ、清らかに、かがやけ。

飛んでいけ、おお、セレナータよ、
愛する人はただひとりだが、
半分眠りながら笑みを浮かべつつ、
再びシーツに包まれている、
おお、セレナータよ、
飛んでいけ。

波は岸辺で夢を見る、
風は枝葉で夢を見る、
なおもわたしの口づけを拒むのが、
金髪のわたしの妻なのだ！
岸辺で夢を見るのは波だ。

Ideale 理想のきみ

平和の虹のようなきみのあとを追って
天の道へと進んだ。
親しいともし火のようなきみのあとを追って

夜のヴェールの中へと進んだ。

そして光の中に、空気の中に、
花の香りの中にきみを感じた。
そして誰も居ない部屋は
きみで、きみの輝きで満ち溢れていた。

きみに心を奪われたわたしは、
長いこときみの声の響きに夢を見ていた。
そして地上のすべての苦悩、すべての苦難を
その日のうちに忘れた。

戻ってきておくれ、理想のきみよ、ほんの一瞬、
もう一度わたしに微笑むために。
そうすればわたしにも、きみの姿の中に
もう一度新しいオーロラが輝くことだろう。

L'ultima canzone 最後の歌

わたしに告白してくれたね、
明日お嫁にいくのだと、ニーナよ、
それでももう一度きみのためセレナータを歌おう！
ほら、あの誰も居ない野原で、
ほら、あの陽のあたらない谷間で
ああ、何度もきみのために歌ったことか！

「薔薇の花弁と、おお、アマランサスの花、
きみが結婚してしまっても、
わたしはいつもきみの傍に居る、
薔薇の花弁として。」

明日きみのまわりには
お祝いと、笑顔と、花があることだろう。
きみはわれわれの昔の恋などを考えることもない
だろう。
だがいつも、夜昼となく、
情熱の限りをつくした、
苦悩にみちたわたしの歌がきみにとどくことだろう。

「ミントの葉と、おお、ざくろの花、
ニーナよ、思いだしておくれ、
わたしがきみに贈った口づけを。」

Addio！ さようなら！

疲れて木の葉は地に落ちる、
白い条痕が波間に蛇行する、
ごく濃い霧が空気中に張って、
太陽の光さえ冷たく感じられる。
燕はその巣から去って、
心の赴くまま他の岸へと向かう。
夏よ、さようなら、夏よ、さようなら！

遠くから、遠くから、ひとつの声が、
「聞いて、覚えておけ」と叫んでいるように思われる。

「明日も今日と変わることはない、
喜びと悲しみ、埃と祭壇も同じことだ。」
人生のすべてのきずなは断ち切られ、
苦悩も快樂も忘却が覆い隠してしまう。
おお希望よ、さようなら、おお希望よ、さようなら！

なぜためらっているのだ、おお、やさしい恋人よ？
わたしに一度だけ口づけして、去っていけば良いのだ。
もう一度、もう一度。
きみが限りなく誠実であるという証拠が欲しいのだ、
きみの心は宿命的にわたしのものだから。
永遠にさようなら、永遠にさようなら！。

イタリアオペラ合唱曲

ナブッコ より 行け、我が想いよ、金色の翼に乗って

行け、我が想いよ、金色の翼に乗って
行け、おまえは山に丘に憩い、
そこでは、暖かく柔らかい
故国の甘いそよ風が薫っている！

ヨルダンの河岸に挨拶を届けよ、
倒されたシオンの塔にも……
ああ、わが麗しの失いし祖国よ！
ああ、懐かしくも酷い思い出よ！
運命を預言する預言者の豊琴よ、
なぜ柳の木に掛かって黙っている？
胸の中の想いを再び搔き立てる、
過ぎ去りし日を我らに語るのだ！

または運命のソリマ（エルサレム）と同じ
辛い悲しい響きをもった悲劇の詩を、
さもなくば辛苦に耐えうる勇気を
呼び起こすような快い主の靈感を！
苦しみに負けない強き心を……

カヴァレリア・ルスティカーナ より オレンジの花は香り

緑に縁どられてオレンジが香り
花咲くミルテの間で雲雀が歌います
心のときめきをいや増すやさしい歌が
誰の口からも囁かれる季節なのです
畠の中の金色の穂の間に
お前たちの機（はた）の音が届く
我々は疲れて仕事の手を休め
お前たちのことを思う、ああ太陽のような
美しい目の女（ひと）たちよ、
ああ太陽のような美しい目の女（ひと）たちよ、
我々はお前たちのところに駆けつける
小鳥が呼子に飛んでいくように
野良仕事をおやめなさい
清らかな聖処女が救い主の事で
喜んでおられるのです

椿姫 より 闘牛士の合唱

《ガストーネと闘牛士達》
俺達はマドリードの闘牛士
闘牛場の勇者達。
俺達は、パリで行われる肥えた牛とのお祭騒ぎを
楽しむために、たった今着いたばかり。
話を聞いて頂けるなら、俺達がどれほどもてるか、
お分かりになりましょう。

《他の者達》
さあ、さあ、話してくれ。喜んで聞こうじゃない
か……

《ガストーネと闘牛士達》
皆さん、聞いてください。
ピクイッロは、ビルバオの美しくたくましい闘牛士。
腕の筋肉が強く、眼光鋭く、闘牛士の中の闘牛士。
この男が、andalusiaの娘に熱烈な恋をした。
ところが、この美しい内気な娘がその若者にこう
言った。

『私は、あなたがたった一日で五頭の牛を倒すと
ころを、見たいのです。
もし、貴方が勝てば、あなたの凱旋にこの手と心
を差し上げます！』
よし、と言つて、闘牛士は闘牛場へ飛んで行き、
五頭の牛を地に叩きのめし、勝利者になったのだ。

《他の者達》
プラーヴォ、プラーヴォ、闘牛士、みごと腕の筋肉
を見せたのだ。
若き燃える恋ゆえに闘牛士は身をもって示したのだ。

《ガストーネと闘牛士達》
それから、拍手喝采の中、恋する美しい娘のもと
へ戻った彼は、両腕の中に、しっかりと愛の褒美
を受け取った。

《他の者達》
闘牛士達は、その力試して美しい娘達の心を得る
ことが出来るのだ！

《ガストーネと闘牛士達》
でも、ここでは、心はもっと穏やかに…
私達は、愉しむだけで充分なのだ…

《一同》
そうだ、そうだ、陽気に…
まずは、運命の様々ないたずらに接してみよう。
競技場は向こう見ずな勝負師達に開放しておこう。

Profile

藏田 裕行（指揮）



京都市立音楽短期大学卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科独唱専攻修了。オーストリア政府給費留学生としてヴィーンに留学。ヴィーン国立音楽大学オペラ科、リート・オラトリオ科首席卒業。最優秀賞受賞。

在欧中、ヴィーンアカデミー室内合唱団員として活躍したほか、1976年ヴィーン音楽祭、オーストリア初演ハイドン作曲「オルフェとエウリディーチェ」にてソリストとしてジョーン・ザザーランド、ニコライ・ゲッダと共に演。帰国後はリサイタル、オペラ、オラトリオと多方面にわたって活躍するほか、1968年～2001年京都市立芸術大学での教育活動により数多くの優秀な人材を育成した。1996年～2000年同大学音楽学部長。1987年「藤堂音楽褒賞」、2001年「京都市文化功労者」。NHK京都文化センター講師。京都市立芸術大学名誉教授。関西二期会理事長。日本シーベルト協会会長。財団法人東京二期会理事。日本オペラ連盟副理事長。1991年より京都混声合唱団常任指揮者。



清水徹太郎（テノール）

京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、及び同大学院音楽研究科声楽専攻修了。第20回ABC新人オーディション音楽賞受賞。第3回マダムバタフライ国際声楽コンクール入賞・特別賞受賞。京都市芸術祭新人演奏会に出演し京都市長賞を受賞。第1回ベルカントテノレコンコルソ第1位。第26回飯塚新人音楽コンクール第2位他、多数のコンクールで入選・入賞。宗教曲、室内楽では、J.S.バッハ「ヨハネ受難曲」エヴァンゲリスト、L.V.ベートーベン「第九」、W.A.モーツアルト「レクイエム」、「戴冠ミサ」、J.ハイドン「天地創造」、「ネルソンミサ」、G.F.ヘンデル「メサイア」、G.ロッシーニ「小莊嚴ミサ」等のテノールソロを務める。オペラでは大阪野外芸術フェスティバル2005・2006大阪城・創作野外オペラ『千姫』の豊臣秀頼役に抜擢される他、「ラ・ボエーム」のロドルフォ、「魔笛」のタミーノ、「カルメン」のドン・ホセ、レマングード、「トゥーランドット」のパン、「ランスへの旅」騎士ベルフィオール他多数タイトルロールで出演。声楽を澤井宏仁、藏田裕行、田原祥一郎、福島明也、大島幾雄の各氏に師事。舞台所作を風かおる氏に師事。バッハ・コレギュム・ジャパン公演プロジェクトにテノールメンバーとして参加。ヴォーカルアンサンブル京都各メンバー。日本演奏連盟所属。



小玉 晃（バリトン）

京都市立芸術大学大学院修了後、渡澳。ヴィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科卒業。リートをW.モーア、オペラをR.ニックラー、発声を宫廷歌手M.ニコロヴァに師事。在欧中リサイタルの他、多数の演奏会に出演。シュトゥットガルト・バッハアカデミーにおいて、バッハ演奏法を宫廷歌手W.シェーネに学び、H.リリングによるゲシュプレヘスコンツェルトではソリストを務める。パロック作品の歌唱法及び解釈をM.ファン・エグモントに、リート解釈をH.ホッター、E.アメリング、E.ヘフリガー、W.ベリー他に学ぶ。ベートーヴェン『第九』、バッハ『マタイ受難曲』、『ヨハネ受難曲』、ヘンデル『メサイア』、モーツアルト、ブームス、フォーレの『レクイエム』他、ソリストを数多く務める。指揮者としての活動にも力を入れており、カンタータやオラトリオは自らオーケストラを指揮しながらソロを歌うなど活動の幅を広げている。また、理論に基づいた発声指導には定評があり、多方面から指導依頼も多い。J.S.G.国際歌曲コンクール第1位。日本音楽コンクール入選。青山音楽賞、松方ホール音楽賞大賞他受賞。藏田裕行、川下登、故植田治男の各氏に師事。関西二期会、日本シーベルト協会会員。MBSコンクール審査員。兵庫県立芸文センター合唱団、京響市民合唱団、パナソニック合唱団他指導者。大阪音楽大学、同志社女子大学講師。日本ドイツリート協会副会長。<http://a-kodama.com>



中山幾美子（オルガン）

同志社女子大学学芸学部音楽学科及びハンブルク国立音楽大学オルガン科卒業。

ハンブルク、京都などでリサイタルを行う。二度にわたりポーランドのクラコフ夏期オルガン連続演奏会にて招聘演奏した他、京都コンサートホール、宝塚ベガホールなどで度々演奏。また1997年より日本キリスト教団京都教会にて、10回にわたりオルガンのコンサートシリーズを行った。ソリストとしての活動のほかに、通奏低音奏者、伴奏者として数多くのカンタータ、ミサ曲等の演奏会に出演。室内楽やオーケストラとの共演も多い。2005年CD「クリスマス・オルガン曲集」をコウベレックスよりリリース。

現在、同志社女子大学学芸学部嘱託講師、同志社女子中学高等学校課外音楽講師。同志社大学、同志社女子大学などでオルガニストをつとめながら、活発な演奏活動を行っている。日本オルガニスト協会会員。



宮北 昌子（ピアノ）

京都市立堀川高校音楽科（現・京都市立音楽高校）を経て、京都市立芸術大学音楽学部音楽科ピアノ専攻卒業。ザルツブルク・モーツアルテウム音楽院マスタークラスに参加、セルジオ・ペルティカローリ教授の講座を修了、修了演奏会に出演。ピアノ・ソロ、デュオ、声楽・弦・管・打楽器とのアンサンブル、伴奏で多数の演奏会に出演。ピアノを山田淳子、故岩淵洋子、故マックス・エッガー、B.ベクテレフの各氏に、チェンバロを春山操氏に師事。男声合唱團 Eleisons ピアニスト。1988年より京都混声合唱團ピアニスト。



大谷 圭介。（ヴォイストレーナー）

京都教育大学教育学部数学科卒業。京都市立芸術大学大学院修了。

オペラでは『フィガロの結婚』伯爵でデビュー。その後『魔笛』『ナクソス島のアリアドネ』『セヴィリアの理髪師』『ラ・ボエーム』『椿姫』『こうもり』等でいずれも主演。『セヴィリアの理髪師』フィガロでは、紙上において「芯のしっかりとした演唱」と好評を得た。また『第九』はもとより、フォーレ、デュルフレ『レクイエム』、バッハ『口短調ミサ』、ベートーヴェン『ハ長調ミサ』などの宗教曲、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団など関西の主要オーケストラなどとの共演と、活動の場を広げている。声楽を費場知昭、藏田裕行、故G. Tadeo、田中勉、折江忠道の各氏に師事。なにわ芸術祭新人賞、高槻音楽コンクール第1位、摂津音楽祭リトルカメリアコンクール奨励賞等受賞。関西二期会会員。京都教育大学音楽科非常勤講師。『一万人の第九』指導者。京都市立芸術大学大学院（後期）博士課程在学中。京都混声合唱團は'98年から指導にあたっている



藤 美千代（ヴォイストレーナー）

同志社大学文学部英文学科卒業。3年半の会社勤務を経て、京都市立芸術大学音楽学部声楽専修に進学、1998年卒業。第9回P.I.A.JAPAN 音楽コンクールトイツリート部門銀賞。その後歌曲研究会ソワレの会において、同会主催のコンサートに多数出演。ドイツ歌曲、フランス歌曲からキャバレーソングに至るまで、幅広いレパートリーを100曲近く発表してきた。また、2010年4月にはピアノ技術センター主催コンサート「ウイーンの香り～オペラ・オペレッタの楽しみ方」を企画、ジョイントリサイタル形式で出演。2011年1月には京都・京都西政経文化会主催コンサート「音楽のコース料理を召し上がり」を企画、リサイタル形式でオペラアリアをプログラム、演奏した。また、アマチュア時代より多くの合唱音楽に携わり、殊に宗教音楽に造詣が深い。声楽は藏田裕行、故・手島孝教氏に、歌曲解釈を益子明美氏に、日本歌曲を関定子氏に師事。関西二期会準会員。2005年より京都混声合唱團ヴォイストレーナー。

合唱出演者



2000年(平成12年)以降の主要演奏会

年月日	演奏会名	曲目	指揮	独唱者	会場
2000(平12) 9. 2	75周年記念演奏会	ヘンデル〈メサイア〉	蔵田裕行	日紫喜恵美 北村敏則 瀧井 誠	京都コンサートホール
2002(平14) 8.31	特別演奏会	ベートーヴェン 〈莊嚴ミサ〉	阪 哲朗	菅三英子 北村敏則 宇野徹哉	京都コンサートホール
2003(平15) 9.14	定期演奏会	高田三郎〈啄木短歌集〉 モーツアルト 〈ヴェスベレ ハ長調〉 デュリュフレ〈レクイエム〉	蔵田裕行	蔵田みどり 竹内直紀 竹林美子	京都コンサートホール 小ホール
2005(平17)11.13	80周年記念演奏会	バッハ〈口短調ミサ〉	蔵田裕行	白川美雪 蔵田みどり 福原寿美枝 小玉 晃	京都コンサートホール
2006(平18)11.11	京都音楽家クラブ 創立50周年記念演奏会	J.シュトラウスⅡ 喜歌劇 〈こうもり〉より	阪 哲朗	尾形光雄 長谷川泉 日紫喜恵美 福原寿美枝 日下部祐子	京都コンサートホール
2007(平19) 7.21	定期演奏会	モーツアルト 〈ミサ・ブレビス 二長調〉 池辺晋一郎 〈円形の天地…京都から〉 フォーレ〈レクイエム〉	蔵田裕行	西あかね 二塚直紀 大谷圭介	京都府民ホール アルティ
2009(平21) 4.18	定期演奏会	メンデルスゾーン 〈野に歌う6つの歌〉 中田喜直(午後の庭園) シューベルト 〈ミサ曲 変イ長調 D678〉	蔵田裕行	松室華子 小林久美子 清水徹太郎 小玉 晃	京都こども文化会館
2010(平22) 7.25	85周年演奏会	ヴィヴァルディ 〈グローリア 二長調〉 モーツアルト〈レクイエム〉	蔵田裕行	谷村由美子 小林久美子 小玉 晃	京都コンサートホール

その他詳しい演奏会記録などは当団ホームページ <http://kyou-kon.jp/> に掲載しております。

ご婚礼家具・和洋家具・室内装飾

創業1856年



株式
会社

宮崎

〒604-0805 京都市中京区夷川堀町西入

電話 075-231-6337 FAX 075-231-1230

E-mail kyouto-ebisugawa@miyazakikagu.com

URL http://www.miyazakikagu.com/

2011年12月
「京フィルの第九」
に参加

団員募集 京都混声合唱団 since 1925

私たちと一緒に素晴らしいコーラスをつくりあげましょう！
経験豊富なプロによる丁寧な指導と、アットホームな雰囲気が特徴の合唱団です。

■応募資格：

合唱を愛する方なら経験の有無は問いません。

初心者には適宜指導いたします。

※オーディションはありません。

■費用：

入団費 1000 円 (学生無料)

月団費 3500 円 (学生 1000 円)

■練習時間：

毎週金曜 19:00 ~ 21:15 (18:30 から発声練習)

※演奏会前は随時特別練習あり

■練習場所：

京都府薬剤師会館 2階ホール (東大路五条上ル東側)

◇常任指揮者：戸田裕行

(関西二期会理事長、京都市立芸術大学名誉教授)

◇ヴォイストレーナー：大谷圭介、藤美千代

◇ピアニスト：宮北昌子

◆練習見学歓迎します◆

■ 090-1226-1717 (京都混声合唱団)

e-mail : info2@kyou-kon.jp

http://kyou-kon.jp

あばんざい



〒600-8014

京・木屋町高辻上ル和泉町160

☎344-2400

高島屋
高島屋
電話 営業時間
07:55午前5階
5午前10時から午後8時
8811時
1時

電話 営業時間
07:55水曜日
(212)1959

堺町店
京都市中京区堺町通御池下ル
(アーバンライフフォルムズ
烏丸御池1階)

電話 定休日
07:55定休日
水曜日
(221)4104

京都市中京区河原町通
四条上ル二筋目東入ル
営業時間 正午から午後7時
定休日 正午から午後7時



京甘味専門店

<http://www.tsukigase.jp/>



一緒にうれしい
On Your Side



京都 中央信用金庫

みなさまのすぐとなりに
京都中央信用金庫がいます。

本店／京都市下京区四条通烏丸西入ル

☎ 075(223) 2525

FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)

www.chushin.co.jp

男声合唱団 Eleisons

Des Eleisons は Eleisons になりました！

平成24年 秋 ケルビーニ「レクイエム」(予定)

団員募集中！！

入団資格：男性であること

練習場所：西陣カトリック教会
(新町今出川下ル)

団 費：4000円／月(学生 1000円／月) HP <http://www.eleisons.org/>

連絡先：吉川 康栄

090-2064-7942

⑥ヒガシマル



淡口うすくち

四季のいろ

城下町の面影を今も残す

淡口のふるさと、播州龍野。

風の詩を子守歌に

ゆつくりと歳月に磨かれた

ヒガシマルの淡口醤油は

やさしい自然のおいしさ—

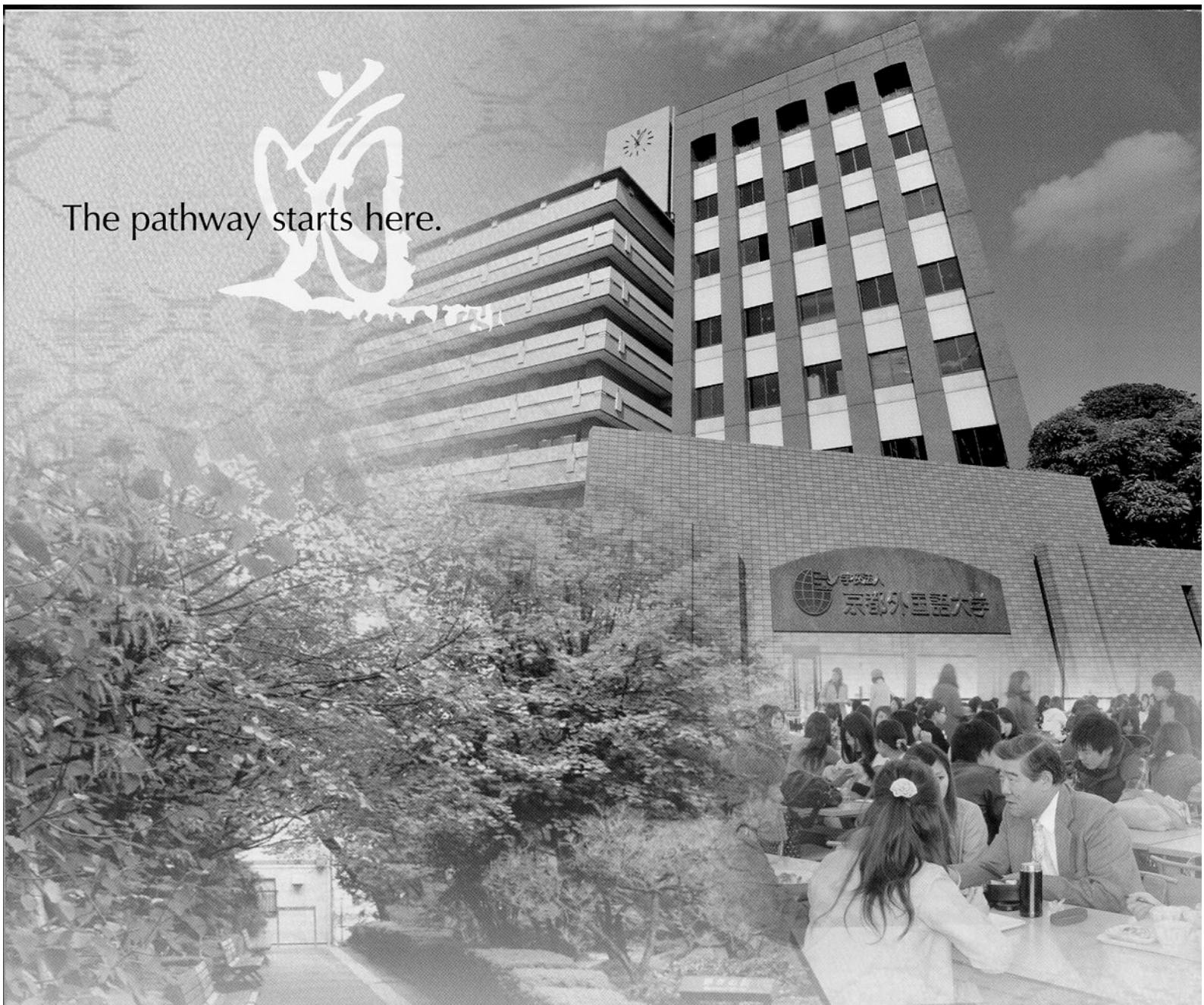
春夏秋冬それぞれの味わいを
色美しく引き立てます。



淡口醤油発祥の地:兵庫県たつの市ヒガシマル醤油株式会社 ホームページ <http://www.higashimaru.co.jp/>



The pathway starts here.



京都外国語大学

外国語学部

- 英米語学科 スペイン語学科
- フランス語学科 ドイツ語学科
- ブラジルポルトガル語学科
- 中国語学科 日本語学科 イタリア語学科
- 国際教養学科

大学院

外国語学研究科(異言語・文化専攻)

博士前期課程

言語文化コース・実践言語教育コース

博士後期課程

言語文化領域・言語教育領域

留学生別科(日本語研修課程)

京都外国语短期大学

キャリア英語科(夜間2年制)

- 英語コミュニケーションコース
- 観光文化コース

京都外大西高等学校

特進コース(スーパーリーム・エクシード)

国際文化コース(Aクラス・Bクラス)

ステラコース(男子) 体育コース(男子)

京都外国语専門学校

英米語学科 中国語学科 韓国・朝鮮語学科 東南アジア言語学科

(タイ語専攻・インドネシア語専攻・ベトナム語専攻)

日本語コミュニケーション学科

(日本語教師養成クラス・留学生クラス)



京都外国语大学
Kyoto University of Foreign Studies

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6

TEL 075-322-6001

<http://www.kufs.ac.jp>